

令和8年3月議会

## 生活環境委員会 報告資料

- 新しい福岡市無電柱化推進計画の骨子案について 1 頁
- 令和8年度 福岡市土地開発基金事業計画案について 5 頁

令和8年3月

道路下水道局



(3) 無電柱化の推進に関する基本的な方針

国の次期無電柱化推進計画の骨子案や福岡市地域防災計画、道路整備アクションプラン2028などを踏まえ、以下のとおり、「無電柱化推進の基本方針」及び、「無電柱化の推進に関する施策の主な視点を整理したもの。

【国の無電柱化推進計画骨子案 (R7.12公表)】

◆ 無電柱化の推進に関する基本的な方針

- ・ 緊急輸送道路の無電柱化を加速／コスト縮減と事業のスピードアップ

◆ 無電柱化の推進に関する目標

- ・ 【防災】道路啓開の観点で優先的に整備する区間や第一次緊急輸送道路の整備完了率
- ・ 【交通安全】特定道路や通学路の計画策定数
- ・ 【景観・観光】世界文化遺産周辺の無電柱化計画策定数など

◆ 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に構ずる施策

- ・ 迂回配線など多様な整備手法の活用によるコスト縮減／常設作業帯による事業スピードアップ
- ・ 緊急輸送道路・特定道路・通学路で新設電柱の占用制限／特殊部コンパクト化の技術開発 など

【福岡市地域防災計画】

- ・ 円滑な救助・救急、医療及び消火活動等を支え、また、被災者に緊急物資を供給するため、障害物除去等により交通を確保し、優先度を考慮した緊急輸送を行う。  
(輸送・交通) 緊急輸送道路ネットワーク

【福岡市道路整備アクションプラン2028】

地震や台風などの災害時における道路遮断の防止や電力・通信網の切断被害の軽減に加えて、安全で円滑な交通確保や観光振興などを図るため、緊急輸送道路や生活関連経路などの無電柱化に取り組みます。無電柱化の推進にあたっては、更なるコスト縮減とスピードアップに向けた検討を進めます。

【市民の意見 (アクションプラン2028 策定時)】

高齢者や子ども、多くの市民が歩きたいと思える道路整備

景観的に美しく、歩いて楽しい道路整備を進めてほしい

スピード感のある無電柱化に取り組んでほしい

など

無電柱化推進の基本方針	主な視点
1. 防災	・ 道路啓開の観点から、広域的な応急対策を行うための災害に強い道路ネットワークの構築
2. 安全・円滑な交通確保	・ 高齢者や体の不自由な人、子どもたちをはじめ、すべての人が安心して移動できる歩行空間の確保
3. 景観形成・観光振興	・ 歴史的街並みや豊かな自然環境等を活かした道路空間整備との連携
4. まちづくりとの連携	・ 都心部や都市の成長を推進する拠点等でのまちづくりと連携
無電柱化の推進に関する施策	取組内容の検討に向けた主な視点
総合的かつ計画的に講ずべき施策	・ 低コスト・事業スピードアップ手法の活用 ・ 道路空間の制約への対応 ・ 新設電柱の抑止

## 【参考】現計画

### 方針1：防災

#### 1. 緊急輸送道路の無電柱化

- ◆ 災害時における人命救助、消防、物資輸送などの応急活動に不可欠な緊急輸送を確保するため、緊急輸送道路や幹線道路で、約19.1kmの無電柱化工事に着手
- ◆ 市街地（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率を34%（R2末）から41%（R7末）に向上

### 方針2：安全・円滑な交通確保

#### 2. 生活関連経路の無電柱化

- ◆ 緊急輸送道路でかつ福岡市バリアフリー基本計画で定める生活関連経路で、約2.8kmの無電柱化工事に着手

### 方針3：景観形成・観光振興

#### 3. 良好な景観形成・観光振興のための無電柱化

- ◆ 景観形成・観光振興に資する道路で、約1.8kmの無電柱化工事に着手
- ◆ Fukuoka East & West Coastプロジェクトとして、志賀島地区、北崎地区の2路線（志賀島和白線、福岡志摩前原線）で整備を完了

### 方針4：まちづくり等に合わせた無電柱化

#### 4. 開発事業やまちづくりと連携した無電柱化

- ◆ 区画整理や再開発事業と合わせて、約10.0kmの無電柱化工事に着手
- ◆ 九州大学箱崎キャンパス跡地の周辺道路で整備を推進（300m/2,040m完了）

### 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずる施策

#### 5. 緊急輸送道路における電柱

- ◆ 緊急輸送道路などにおいて、道路法第37条に基づく新設電柱の占用制限を実施

#### 6. 新設電柱の抑制

- ◆ 開発等においては、無電柱化法第12条を踏まえ、事業認可や開発許可の際の事前協議等を通じて、道路上に電柱を新設させない指導を徹底

#### 7. コスト縮減の推進

- ◆ 浅層埋設方式を標準適用とし、コスト縮減を推進
- ◆ 電線管理者の管路や特殊部など既存ストックを活用し、新設費用を抑制（志賀島和白線）

#### 8. 事業のスピードアップ

- ◆ 工事現場に常設の作業スペースを設けることで、毎日の掘削・埋め戻し作業を省略する「工事ヤードの常設化」の導入に向けた試験施工を実施（福岡空港線）

#### 9. 占用料の減免

- ◆ 無電柱化を一層推進するため、地中化されている電線などの占用料について、架空線よりも低い占用料を設定する国の方針に準じて減免

#### 10. 推進体制および地上機器の高付加価値化

- ◆ 市と電線管理者で構成する「福岡市無電柱化推進プロジェクトチーム」において、コスト縮減や工期短縮といった課題解決に向けた取り組みを実施
- ◆ 地上機器の新たな活用として、大博通りにおける世界水泳の広報や、須崎公園南交差点付近における福岡市民ホール周辺の案内マップ、筑紫口中央通りにおける地域の賑わい創出を目的としたアート作品の掲示などを実施

【参考】現計画における成果指標と進捗状況

指標1：無電柱化工事の着手延長（方針別）

成果指標	R2未策定時	R7末目標	R7未予定
「防災」を目的とした無電柱化着手延長 緊急輸送道路及び幹線道路等における工事着手延長	—	34.4km	19.1km
「安全・円滑な交通確保」を目的とした無電柱化着手延長 バリアフリー基本計画における生活関連経路等の工事着手延長	—	2.8km	2.8km
「景観形成・観光振興」を目的とした無電柱化着手延長 街並みや自然環境などとの調和を図る道路における工事着手延長	—	2.5km	1.8km
まちづくり等に合わせた無電柱化着手延長 区画整理や開発行為等に合わせた工事着手延長	—	13.8km	10.0km

指標2：無電柱化工事の着手率（防災分野）

成果指標	R2未策定時	R7末目標	R7未予定
市街地(DID地区)の緊急輸送道路の無電柱化着手率 工事着手した路線延長÷市街地(DID地区)の緊急輸送道路の総延長	34% (43.3km/124.8km)	45% (56.1km/124.8km)	41% (50.6km/124.8km)

# 令和8年度 福岡市土地開発基金事業計画案について

## 道路整備

道路整備事業において、都市の骨格となる幹線道路及び市民生活に密接に関連する生活道路等、多様な都市活動を支える重要な基盤施設としての道路整備を効率的に推進するため、用地の先行取得を行うもの。

No	路線名 (工区名)	事業計画区間		令和8年度計画		買収 予定価格
		延長 (m)	幅員 (m)	買収面積 (㎡)	補償件数 (件)	
①	都市計画道路 国道3号線 (半道橋)	1,240	25	173.68	1	不動産価格 評定委員会 の評定価格 以内
②	都市計画道路 国道3号線 (東那珂)	1,915	25	62.64	1	
③	都市計画道路 吉塚松崎線 (吉塚)	610	15	334.14	2	
④	都市計画道路 吉塚松崎線 (原田)	240	15	262.00	1	
⑤	都市計画道路 野間屋形原線 (花畑)	761	25	58.91	3	
⑥	都市計画道路 老司片江線 (やよい坂)	680	14~25	355.17	4	
⑦	都市計画道路 長尾橋本線 (茶山)	920	22	329.99	2	
⑧	国道 495号 (和白丘)	1,170	16	423.15	-	
⑨	県道 町川原福岡線 (香椎駅東)	520	12	103.20	-	
⑩	県道 水城下臼井線 (大井)	1,300	12	4.88	-	
⑪	市道 香椎花園線 (香住ヶ丘)	1,080	12	236.85	-	
合計 11路線				2,344.61	14	
事業計画額				976,866 千円		
基金への返還残高 (令和7年度末見込み)				2,589,198 千円		

令和8年度 土地開発基金 先行取得事業箇所図

